



広報

たかしま

1
1
日号
平成22年
No.106

謹賀新年

「熱気球琵琶湖横断（安曇川町）で」

【特集】高島市5歳。

③—⑥

- 年頭のごあいさつ ②
 お知らせ拡大版 ⑦
 タウンピックアップ ⑧
 みんなで5・7・5 ⑨
 消費生活相談・省エネ ⑩

- 教育委員会 information ⑪
 健康生活 ⑫
 暮らしの情報 ⑬—⑮
 国保年金あらかると ⑯
 びょういんだより ⑰

- そうだ図書館に行こう ⑱
 窓口だより ⑲
 歴史散歩 ⑳



広報たかしま

1
1
日号平成22年
No.106発行／高島市 編集／企画部秘書広報課
〒500-0001 滋賀県高島市新旭町北畑500-5番地☎0740(45)8000
http://www.city.takashima.shiga.jp
✉info@city.takashima.shiga.jp

資料館見て歩き

チヨロリ・ロクロ・人形

本市には、北からマキノ資料館・朽木資料館・高島歴史民俗資料館の3館が、それぞれ地域の特色を持ちながら施設運営をしています。ここでは、各館のミニ展示説明をします。

◆マキノ資料館

同館を入ると、左手に民家の居間のジオラマ展示があります。囲炉裏を挟んで、じつちゃんとまごぼんが楽しそうに語らいついています。囲炉裏を覗き込むと、巻貝の形をした一握り大の陶器が目に残ります。その器は、チヨロリ・ハイドックリ・ハトカン（鳩爛）と呼ばれています。一度、ゆっくりとご覧ください。

▲マキノ資料館
(☎27-1484 休館：月・火)

◆朽木資料館

同館には、昭和59年3月30日付で、滋賀県指定有形文化財として指定された「朽木の木地屋用具と製品」が、大切に保管されています。今回、木地屋用具のなかの、手挽きロクロが有志の方々によって復元されました。そのロクロを2月から展示をすることになっています。

▲朽木資料館
(☎38-2339 休館：月・火)

◆高島歴史民俗資料館

3月には、恒例になりました古雛展を開催したいと思っています。市内の方で、古雛を保有され、今回、同展示に出陳していただける方がございましたら、高島歴史民俗資料館へご一報いただきますようお願いいたします。

▲高島歴史民俗資料館
(☎36-1553 休館：月・火)

▲マキノ資料館のジオラマ展示

編集後記

毎年この時期は、1年間を振り返り、それぞれの瞬間を切り取って短い表現に納められた「今年の〇〇」というのが発表され、話題にあがります。そのジャンルも漢字や四字熟語、川柳や百人一首など多彩。社会風刺やユーモアにも富んでいて、時々世相を反映しているそれらに、想像を掻き立てられ、思わすうなずき、ニヤリとしてしまいます。2009年の「今年の漢字」は「新」。新しい年を迎え、希望を持って新たな一歩を踏み出したいものです。それには「一年の計は元旦にあり！」といわれるように、何事もまず初めに計画を立てることが大事。そう意気込み、新年の抱負に「ダイエツ！」と掲げるにも、箸を右、ビールを左に携えるこの時期は、自ずとタイミングを逸してしまいますね。（広報担当〇）

お知らせ
拡大版タウン
ピックアップ暮らしの
情報みんな
で5・7・5消費生活
省資源

教育委員会

健康生活

びょうい
んだより

国保年金

図書館

窓口だより

歴史散歩